



  
 しらいちく  
**白石地区**  
 たから  
**お宝マップ**  
 発行：白石小学校PTA  
 あいらぶ白石環境マップチーム

- 自然
- 神社、寺、地蔵
- 史跡
- 祭り
- その他

● 黒字 現在建物等が存在するもの  
● 赤字 過去にその場所に存在したものの等



# 自然

1 おおいちょう しらいししょうがっこう  
**大銀杏(白石小学校)**  
白石小学校のこれまでの歴史を、ずっと見守ってきたシンボルツリーです。新校舎建築の際、枝打ちをして現在の場所に移植されました。秋になると、落ち葉を拾い集めて遊ぶ子どもたちを、温かく見守っています。もって元気を取り戻して青空に背伸びする姿を、みんなが待ち望んでいます。

2 いすずがわ ほたる い もの  
**五十鈴川・蛍・生き物**  
白石小学校前を流れる「五十鈴川」。サワガニ、ヒラタカゲロウ、ヒラタドROMシといった水のきれいな場所に生息する生きものを見つける事ができます。夏には蛍も観察する事ができます。

3 あじさい  
白石中の南側フェンス沿いは、6月頃あじさいロードとなり、とてもきれいです。

4 いとよね き  
**糸米のムクの木**  
昔、大蔵社の小祠があった後に残された大木。神社の巨樹は神の「依代(よりしろ)」として保護されていました。大きき4.6m×25m(ブールの長さくらいの高さ)

5 いとよねがわ さ ぼうこうえん  
**糸米川砂防公園**  
きれいに整備された親水公園。川では水遊びができます。桜、梅、もみじなどが植えられていて、季節ごとに色を変える美しい風景にも出会えます。

6 はくづつかん  
**博物館・もみじ**  
開館100年を迎えました。たくさん展示や体験講座が開催されています。敷地内には廃車になったSLもあり、秋にはもみじの紅葉がとてもきれいです。

7 かめやま いけ  
**亀山ふもとの池**  
カメのオブジェが目印です。ザリガニをはじめ、カメ・ウシガエル・カワセミがいます。春にはハスの花がきれいです。

8 なみ き  
**パークロード並木**  
日本の道100選に選ばれています。季節によって様々な変化を見せてくれる木の葉がとってもきれいです。

9 かめやまこうえん  
**亀山公園**  
長い階段ののぼって頂上につくと市街地が一望出来ます。赤マツ・黒マツをはじめ、たくさん木があり紅葉も楽しめます。夏には仕掛けをするカブトムシが採れます。

10 しやくしょした いけ こい はと  
**市役所下の池の鯉・鳩**  
池にはコイが泳いでいます。遊歩道にはたくさんの鳩がいて、パンをあげると一斉に近寄ってきます。その中に一羽、白い鳩がいます。

11 えきとお いちよう なみ き  
**駅通りの銀杏並木**  
道場門前の魔法の屋根から山口駅へ向かう駅通り。秋の紅葉は見事で、落ち葉はまるで黄色い絨毯のようです。

12 しょうふくじ  
**正福寺のカイツカイブキ**  
天文年間の創立といわれる正福寺が、1607年、現在地に移った当時に植えられたもので、山口県指定天然記念物です。

13 いまいち こうえん  
**今市公園**  
山口公園病院隣にあり、四つ葉や五つ葉のクローバーがたくさん見つかります。春には桜もとてもきれいです。

14 ざくら  
**しだれ桜**  
コープ衣料館横の本園寺の参道のしだれ桜は、ピンクのトンネルみたくてとてもきれいです。

15 ふじ いしょうてんきんべん とり  
**藤井商店近辺の鳥・コイ・カメ**  
前を流れる一の坂川に住むコイやカメは大きくて見ものです。お隣の魚屋さんでは鳥が餌を求めてお店の向かいで待っています。

16 あらたがしょうてんが い  
**荒高商店街**  
古い火鉢や壺を利用した花壇が商店街を色どっています。通行人による人気投票を行う「ふれあい・花・コンテスト」も開催されます。

17 ちゅうおうこうえん  
**中央公園・どんぐり**  
広い芝生の広場があり、桜の木が植えてあります。春はお花見、夏には噴水で水浴び、秋は紅葉が美しくどんぐりも拾うことができます。

18 ぞうずざん  
**象頭山(100m)**  
山の形が象の頭に似ていることから名付けられました。Xmasシーズンにはイルミネーションも楽しめます。山頂には、展望台もあります。

19 かめやま  
**亀山(66m)**  
山の形が亀に似ているから名付けられました。

20 こうのみね  
**鴻ノ峰(338m)**  
鴻ノ峰には、1556年、大内義永が作った「高嶺城」という城(未完)がありました。そのために、「城山」とよばれたこともあります。大内義長は毛利元就から攻められ、大内氏は滅んでしましますが、そのときに一時ここに立てこもりました。今も山頂には、本丸や櫓のあと、石垣が残り大内氏の家紋入りの瓦も見つかっています。

21 おとどいやま  
**兄弟山(257m)**  
「二子山」とも呼ばれています。同じくらいの高さの山が、兄弟のように仲良く並んでいます。二つの山の南が弟山(210m)、北が兄山で高さ(252m)です。兄山の山頂には、狭いのですが鳥居と祠があります。

# 神社、寺、地蔵

1 きと じんじや  
**木戸神社**  
木戸孝允は維新の三傑といわれ、西郷、大久保と薩長連合を生んだ立役者。参議、内閣顧問と栄進したが、西南の役の途中で病死。その徳をしのんで、旧居近くに有志の人々により建立されました。桜の名所として知られています。

2 にしいとよね じ ぞう  
**西糸米の地蔵**  
町内には4箇所に「おじぞうさま」があります。江戸時代、この糸米で「わざわい」が続き、地区の人がお地蔵さまをたてて祈ったそうです。

3 ふもんじ  
**普門寺**  
臨済宗のお寺です。幕末には大村益次郎がここを宿舍とし、兵学を教えました。

4 ちやうじゆじ  
**長寿寺**  
浄土宗のお寺です。春はチョウチョ、夏はセミ、秋は銀杏、冬は除夜の鐘の風情が楽しめます。もりさま祭りが行われます。

5 たまちじ ぞう ひよけじ ぞう  
**田町地蔵(火除地蔵)**  
以前、田町で火事があったことで祭られています。年2回、春と秋にお接待が行われます。

6 ひ ぎり じ ぞういん  
**日限地蔵院**  
敷地に入るとお地蔵様がずらり並び、御堂の右側の石仏群と合わせ壮観です。御堂には地獄絵も奉納されています。

7 りゅうおうしゃ  
**龍王社**  
日照りや火災の憂いを除く竜神を祭った村の鎮守神として、昔から土地の人に信仰されています。

8 いつくしまじんじや  
**厳島神社**  
1406年安芸の宮島から歓請し現在の県庁の地に祀ったもので、1864年社地が藩主の居館となった為、この地に移されました。

# 史跡

1 いとよね こ ぶん  
**糸米古墳**  
2基の円墳が発見され、中から石棺・土器・玉類などが見つかりました。現在その石棺が白石中学校庭に保存されています。

2 やまだ あきよし せいせいきゅうたくあと せきひ  
**山田顕義先生旧宅跡の石碑**  
明治前期の陸軍軍人で吉田松陰門下生のひとり。日本大学創設者で大学創立百周年を記念して建てられました。

3 きねんせいどう  
**サビエル記念聖堂**  
キリスト教宣教師フランシスコザビエルが山口を訪れてから400年を記念して建てられた教会です。白石の色々な場所から2本の塔を様々な角度で見ることが出来ます。クリスマスには色々なセレモニーがあります。

4 やまぐちこうこう き ねんかん  
**山口高校記念館**  
文化庁の登録有形文化財建造物。旧山口高校講堂。

5 おほろ し みず  
**龐の清水**  
大内時代より山口の三名水として、生活用水に利用されてきました。今は夏は水が湧きますが、冬は枯れています。

6 ちんりゅうていあつ  
**枕流亭跡**  
山口の旧家・安部家の離れでした。幕末、この二階で西郷隆盛や大久保利通、木戸孝允らが密議を重ねたと伝えられています。その後、幾度か移築されましたが現在は香山公園内に保存されています。

7 ふじ みず  
**藤のした水**  
大内時代に山口三大名水と言われていた内の一つで、一の坂川沿いにあります。今では井戸と石碑がなごりをとどめています。

8 じんじや  
**えびす神社**  
七福神のえびす様がご神体。ご神体、恵比寿堂、堂記の三者が揃っています。「市恵比寿社」は全国的にも珍しい。

9 ふくべ どう じ ほごら  
**福部童子の祠**  
菅原道真の末子「福部童子」が山口で大病にかかり亡くなりました。その遺骸を葬った跡がこの祠であるといわれています。

10 しらいししょうあとち  
**白石小跡地**  
明治5年白石小の前身山口第一小学校創立。その後、今道小学校と改称、今の林業会館に移転。昭和4年現在の東白石に移転されました。

11 わにいしかないわ  
**鱒石重岩**  
鱒石橋のたもとに600年以上前からある岩。昔は川の水が多く鱒が口を開けているように見えたと名付けられたとも言われています。

12 ちやうすやま せつかん ぼく くん  
**茶臼山石棺墓群**  
弥生時代終わりから古墳時代前期のお墓の跡が見えます。供膳容器や古墳時代中頃の貯蔵具なども発見されたと伝えられています。

13 やまだ あきよし き ぶん ひ  
**山田顕義寄付金の碑**  
このあたりの道を改修するとき、山田顕義が寄付をして建った碑と記されています。

# 祭り

1 まつ  
**もりさま祭り**  
長寿寺の境内を会場に毎年9月1日に行われます。祭神は菅原道真公で、山口の夏祭りの最後を飾ります。

2 あたご まつ  
**愛宕さま祭り**  
江戸時代初期に、今の早間田付近で大火が起こったことから火難除けに火の神様が祭られています。祭日は9月7日。

3 かき ぎてんじんまつ  
**笠置天神祭り**  
菅原道真が山口を通る際、町内で休息され笠置を忘れたことから名称がつけお祭りが始まりました。江戸時代初期より祀られており、商売の神様である恵比寿様と大黒様が併せて祀っています。祭日は8月20日。

4 おつぼねまつ  
**御局祭り**  
江戸初期、一の坂川の増水・氾濫を治めようと水神様を祭ったのが始まり。その後、地域柄商売繁盛の神様としても祭られています。祭日は9月1日。

5 やまぐち まつ  
**山口ちやうちん祭り**  
山口三大祭りの一つ。600年以上前、大内盛見が父母の冥福を祈り7日盆の夜に笹竹の上に高灯籠とぼし精霊の迎え火とすることをはじめたものが、次第に町の家々の盆行事となりました。

6 こうじんまつ  
**荒神祭り**  
天下太平、火難消除の守護神。大内時代末期、大火がこの祠近くでにわかに消え去ったと伝えられています。祭日は8月28日。

7 ふくべ どう じ まつ  
**福部童子祭り**  
毎年祭日8月26日に福部童子の祠の前で焚き火をして尻をあぶると病気をしないという「尻あぶりの神事」の風習があります。

8 わにいし かき いわまつ  
**鱒石の重ね岩祭り**  
戒様として拝まれ、現在は商売繁盛の神として毎年3月にしめ縄を作り祝詞をあげお祭りしています。

9 やまぐち おんまつ  
**山口祇園祭り**  
山口三大祭りの一つ。1370年、京の八坂神社から御分霊を招いたのが始まりです。祭日は7月20～27日。夜店もたくさん出ています。

10 やまぐちてんじんまつ  
**山口天神祭り(11月22日～23日)**  
山口三大祭りの一つ。「御神幸行列」「備立行列」「宝恵籠行列」「長持ち行列」の総勢250名に及ぶ一行が市の数か所で稚児舞の奉納や、所作を行いながら御旅所まで参勤交代を再現した行列が市内を練り歩きます。(古熊神社および商店街)

# その他

1 しみず ゆ  
**清水湯**  
清水湯は、オーバーフロー形式(お湯を溢れさせて使い捨てる)の、掛け流し銭湯。自家源泉から汲み上げられる一日81,500リットルの天然高温(67℃)温泉水を、汲み上げた地下水で冷却し適温にしています。

2 やまぐちしょうほうげいしつ  
**山口情報芸術センター**  
展示スペース、劇場、ミニシアター、市立中央図書館併設する複合文化施設。最先端のメディアアートを楽しめるほか、国内外の芸術家を招いての公演やオリジナル作品を鑑賞できます。

3 コープどうもんの屋上の遊び場  
屋上のどうもんパークには、木で出来たカマキリのオブジェがあります。ボール遊びなどは禁止なのでジャンポン玉で遊びましょう。

4 スペースパンプローナ  
姉妹都市スペインのパンプローナ市をイメージして作られた公園です。ここにあるからくり時計は、1時間ごとに素敵な音色を奏でながら闘牛や人形が出てきます。

5 ウルトラマンオブジェ  
冬にはサンタに変身!!近辺のイルミネーションもきれいです。

6 SL「やまぐち」号(昭和58年8月1日より)  
「真実」の愛称で親しまれている「C571」が、新山口駅～津和野間62.9kmを約2時間かけて走っています。(一日一往復。3月～11月の土日、祝、夏休み期間に運行。全席指定。)